



横浜

1 熊野郷土博物館 神社への関心と郷土愛の発揚に

社室では、熊野山路縁起の版木・光孝天皇論旨箱・雨乞籠頭・刀剣などがあります。考古資料では、横浜市歴史博物館の企画展にも出展された横浜市鶴見区駒岡堂ノ前古墳出土の古墳時代の形埴輪類・港北区師岡町出土の中世の常滑壺など、古文書では、中世の熊野山路縁起・北条早雲寄状写、民俗資料では、高野神事（市指定無形民俗文化財）に用いる筒などが代表的であります。特に堂ノ前古墳出土の髷形・鞍形・大刀などの形埴輪類は、横浜地域を代表する資料として著名です。



2 横浜市歴史博物館 横浜 3 万年の歴史を知りたいならココ！

横浜市歴史博物館は、「横浜に生きた人々の生活の歴史」をテーマに、横浜 3 万年の歴史を伝える博物館です。館内には、原始から近現代まで楽しみながら通史を学べる常設展示室や、横浜に関わる歴史や文化をテーマにした展示を行う企画展示室、調べものに活用できる図書閲覧室や魅力あふれるミュージアムショップなどがあります。博物館の屋上から行き来できる国指定史跡「大塚・歳勝土遺跡」は、弥生時代の環濠集落や墓地在り復元された遺跡公園として整備され、当時のムラを体感することができます。



4 そごう美術館 面構 片岡球子展 たちむかう絵画

片岡球子は、1905 年北海道札幌市に生まれ鮮烈な色彩感覚大胆な造形感覚を基に個性溢れる日本画を生み出しました。片岡は 1966 年愛知県立芸術大学日本画科主任教授に就任を機に「面構」の制作を開始し、以降 38 年にわたり描き続けました。本展は、「面構」が過去にない規模で展覧されます。創造の過程をたどる片岡の言葉と共に展示されます。迫力ある「面構」の数々は、見る 人に大きなインパクトを与え、日本画の持つ力、新たな可能性を感じていただける契機になることと確信します。

5 横浜美術館 横浜みなとみらいの中心に建つ美術館

シンメトリーな外観と、吹き抜ける開放的なグランドギャラリーが特徴の当館は、7 つの展示室のほか、11 万冊以上の蔵書がある美術情報センター、ワークショップを行うアトリ工棟を備える美術館です。年間を通じて、約 1 万 2 千点の所蔵品からテーマごとに展示を行うコレクション展や多彩な企画展を開催し、国際的な港町、横浜にふさわしい美術館として、開港以来の近・現代美術を幅広く紹介しています。*大規模改修工事のため休館中。2023 年 12 月リニューアルオープン。



6 横浜みなと博物館・帆船日本丸 2022 年 6 月リニューアルオープン！

横浜みなと博物館は横浜港をテーマとする博物館です。「歴史と暮らしのなかの横浜港」をメインテーマに、横浜港のおよそ 160 年の歴史と役割を伝えています。2022 年 6 月に展示室の一部をリニューアルしました。新設の VR（バーチャルリアリティ）シアターやガンテリクレーンシミュレーターが人気です。館内には柳原良平が手掛けたアンクルトリスの広告や船の絵を展示する「柳原良平アートミュージアム」もあります。博物館のとなりには国指定重要文化財の帆船日本丸が係留され、船内見学ができます。



7 野毛山動物園 横浜の中心に位置する"身近な動物園"

「誰もが気軽に訪れ、楽しめる動物園であり、小さな子どもがはじめて動物に出会い、ふれあい、命を感じる動物園」をコンセプトとした入園無料の動物園で、2021 年に開園 70 周年を迎え、親子 3 世代で親しんでいたいただいています。キリン・レッサーパンダなど約 80 種 1800 点の動物を展示し、爬虫類では希少なカメの繁殖にも成功しています。小動物とのふれあいができるなかよし広場は、予約制少人数制を導入した新プログラムを開始し動物福祉に配慮しながら、動物に親しみ学べるコーナーとなっています。

8-1 日本郵船歴史博物館 近代日本海運史をたどる企業博物館

1936 年に建てられた古典主義様式が特徴の横浜郵船ビル 1 階にある、総合物流企業・日本郵船の企業博物館です。常設展では映像を中心に船具や文書、客船パンフレットを展示しています。中でも幼のモデルシップメーカー、昭和初期に活躍するよる船体模型は、昭和初期に活躍した「浅間丸」や「氷川丸」などの竣工当時の姿が細部まで表現された迫力があります。年間を通じて多彩な企画展も開催しており、近代日本の海運史を、日本郵船の社史を通じて多角的に紹介しています。



8-2 日本郵船氷川丸 海に浮かぶ文化遺産

氷川丸は昭和 5 年（1930）に横浜で建造され、シナル航路へ就航した貨客船です。約 30 年にわたる航海を終えて、昭和 36 年（1961）に山下公園前へ係留されて以来、横浜港のシンボルとして多くの人々に親しまれてきました。平成 28 年（2016）8 月には、重要文化財に指定されています。船内は美しいアールデコ機式の「船客エリア」、乗組員たちの仕事を紹介する「乗組員エリア」、氷川丸の歴史を伝える「展示エリア」があります。屋外デッキでは、港の景色を楽しみください。



9 神奈川県立歴史博物館 かながわの歴史と文化、みどころ満さい

旧石器時代から 1964 年の東京オリンピックまで約 2 万年のかながわの歴史と文化について通史的に紹介する常設展示室のほか、学芸員の調査研究の成果にもとづく特別展・コレクション展示・特別陳列と各種の講座など、さまざまな事業を展開しています。国指定重要文化財・史跡である旧横浜正金銀行本店を活用した建物の中で、貴重な歴史資料や美術作品、そしてそこに集う人々との出会いをお楽しみください。



10 JICA 横浜海外移住資料館 みなとみらいで海外移住の歴史をたどる

様々な文化や海外移住の歴史の発祥の地でもある横浜みなとみらい地区。ここにつくられた海外移住資料館は、海外移住の起点となったハワイを含む北米と、中南米の国々の日本人移住の歴史と日系人の暮らしを紹介しています。展示資料や 3 面映像シアター、トリップアートを通して移住者・日系人の足跡をたどることで、今日日本国内で進んでいる多文化共生について考えきっかけにしませんか？横浜にお越しの際は、当館の見学とあわせて、横浜港を一望できる 3 階レストランにもぜひお立ち寄りください。

11 横浜開港資料館 日本の近代、ここに始まる

横浜開港資料館は、「近代横浜の記憶装置」としてや出版等を通じて横浜の近代史を発信するとともに、約 25 万点の所蔵資料を閲覧室にて公開しています。当館は安政元年（1854）に江戸幕府とアメリカのペリー提督が日米和親条約を締結した由緒ある場所に建てられています。中庭にある「たまくすの木」は、ペリー来航時が存在する横浜の生き証人で、関東大震災や横浜大空襲をくぐり抜けて現在に至っています。また、旧館は昭和 6 年（1931）に建てられたイギリス総領事館（横浜市指定文化財）を活用しています。



12 横浜都市発展記念館 目で見える「都市横浜」のあゆみ

当館は、昭和 4 年（1929）に横浜市中心電話局の局舎として建てられた歴史的建造物を活用し、平成 15 年（2003）に開館しました。常設展では、現在の横浜市をよりよく理解するため、その原型が形成された昭和前期を中心に、「都市形成」、「市民の暮らし」、「ヨコハマ文化」の 3 つの側面から都市横浜のあゆみを紹介しています。また、横浜の都市史、近現代史に関する最新の研究成果を企画展や講座、紀要等で発表しています。中庭には土木遺構も展示しておりますので、ぜひご覧ください。

13 横浜ユーラシア文化館 ユーラシアの広がり多様性に触れる

当館は広大なユーラシア地域に暮らす人びとの民族・考古・歴史・美術に関する資料を展示紹介する施設です。常設展示では「砂漠と草原」、「色と形」、「技」、「装う」、「伝える」のテーマのもと、異なる地域、異なる時代の資料を一挙に展示しています。それらを比較することで、様々な民族のつながりや多様性、違うこと面白さや素晴らしさに気づいていただければ幸いです。約 5000 年前の中国彩陶鉢や約 4000 年前のシリアの土製羊など、時空を超えた逸品の数々を間近にご覧いただけます。国際都市横浜ならではの、世界を眺望する博物館です。



14 ニュースパーク（日本新聞博物館） 楽しく、深く、情報と新聞を学ぶ博物館

日刊新聞発祥の地・横浜にある「情報と新聞」の博物館です。常設展示室では新聞の歴史や役割を紹介。今春、情報社会の展示を刷新し、SNS 社会の「情報の森」の冒険に必要な、情報とメディアの付き合い方を知るコーナーを設けました。タブレット端末を使って過去の横浜を取材するゲーム「横浜タイムトラベル」など楽しく体験できるプログラムも用意。年 3 回、新聞やジャーナリズムに関連した企画展を開催しているほか、館内で随時ミニ展示を実施しています。

15 ブリキのおもちゃ博物館 ノスタルジックなブリキのおもちゃたち

ブリキのおもちゃ博物館では、1890 年代から 1960 年代にかけて主に日本で製造された玩具約 3000 点を常設展示しています。これは館長の北原照久が 1973 年頃から収集したコレクションの一部です。古い洋館に展示されたおもちゃは、乗り物や動物、ロボットなどにコーナがられており世代を超えて楽しめます。ただそれだけでなく、異国情緒あふれる横浜で懐かしいあの頃にタイムスリップしてみませんか。



16 大佛次郎記念館 横浜で生まれ、猫を愛した作家の文学館

四季折々の花が美しい「港の見える丘公園」に、赤レンガの外観が一際目立つ館です。「パリ燃ゆ!」、「天皇の世紀」、「霧笛」など多様なジャンルの作品で知られる、横浜ゆかりの作家「大佛次郎」の作品と生涯を紹介する文学館です。年に 3 回のテーマ展示と、常設展を行なっています。赤レンガタイル、青いステンドグラスやモザイクタイルの床など、建築の意匠も必見です。猫好きの大佛次郎にちなみ、館内のおいたるところに猫のオブジェが置かれ、皆さまをお迎えしています。



17 神奈川県立神奈川近代文学館 文学者の息吹に触れる文学展

神奈川近代文学館は横浜港を一望する「港の見える丘公園」にある文学専門のミュージアムです。文学者の息吹に触れる文学展、絵本原画展や講演会、朗読会など多彩なイベントを開催し、常設展では夏目漱石、芥川龍之介、谷崎潤一郎、中島敦ら文豪と神奈川ゆかりの作品を紹介しています。初版本や雑誌、原稿、書簡など約 130 万点の資料は閲覧室で公開（手続を要するものもあります）しています。ミュージアムショップでは漱石グッズが人気です。公園の四季の花々もお楽しみ下さい。

18 岩崎博物館（ゲート座記念） ファッションとアートのミュージアム

異国情緒を感じる横浜・山手にある岩崎博物館（ゲート座記念）は、学校法人岩崎学園・横浜洋裁専門学校学院（現・横浜イカレジ）の記念事業の一環として昭和 55 年（1980）に建てられました。ファッションの歴史やアール・ヌーヴォー期の工芸品を展示しています。また、かつてこの地にあった西洋式劇場ゲート座に関する資料を併せて展示しています。ギャラリーでは、横浜で活躍する作家を中心に絵画、版画、彫刻などさまざまなジャンルの展覧会をお楽しみいただけます。



19 山手資料館 文明開化 横浜の面影を残す

港の見える丘公園、元町公園、山手外国人墓地、教会、学校など、横浜の歴史を物語る文化的自然環境の中にあります。建物は、明治 42 年（1909）本牧上台の中澤兼吉邸として建造された「和洋併設住宅」の大邸宅でしたが、関東大震災後に、兼吉氏の父、源蔵が明治 5 年（1872）に創業した中澤牧場のあった地、諏訪町に移築されました。その後、昭和 52 年（1977）4 月、本多正道が横浜開港当時の歴史を後世に伝えるため、洋館部分を現在の地に再移築され保存再生（横浜市認定歴史的建造物）し、古き良き横浜の面影を偲ばせる資料館として開館しました。

20 シルク博物館 すばらしいシルクの世界へようこそ

当館は、横浜の大大小橋近くにあるシルクセンタービル 2 階にあります。蚕（かいこ）の生態、シルクの科学、絹製品ができる過程、横浜と生糸の歴史のほか、江戸時代の小袖や人間国宝作家の着物など、シルクに関するさまざまな資料・作品を展示しています。また、年間を通じて蚕を飼育展示しているので、生きた蚕を間近に観察することができます。「糸くり」や「はた織り」の体験コーナーもあり、子どもから大人まで幅広く楽しめる博物館です。



21 創価学会戸田平和記念館 港ヨコハマの歴史が薫る文化の館

建造は関東大震災前の大正 11 年（1922）になります。もとは、英国貿易商の横浜支店で「イギリス七番館」と呼ばれました。震災に耐えた英国商館として極めて希少な遺構です。昭和 54 年（1979）、建物正面の外観を当時のまま保存しつつ、平和展示の資料館としてオープンしました。これまで 100 万人以上が各種展示会を鑑賞しました。また、同館は文化的価値が非常に高く、「横浜市認定歴史的建造物」にも認定されています。現在は休館中ですが、夜間のライトアップで山下公園通りに彩りを添えています。



22 横浜の人形 親子三代で楽しめる人形の博物館

世界 100 以上の国と地域、約 1 万点以上の人形を収蔵している人形専門博物館です。常設展示では約 1 千点の懐かしい人形と出会うほか、人間国宝の手による貴重な人形も展示しています。年間を通じてさまざまなテーマで開催している企画展では昨年注目をあつめていたフィギュアやキャラクター、アニメといった新しい人形文化の視点も取り入れ、「観る」「学ぶ」「楽しむ」を来館者の皆様と共有できる施設を目指しています。

23 馬の博物館 馬に親しめる博物館

日本初の本格的な洋式競馬場の跡地に立つ博物館です。横浜競馬の歴史やウマの進化・生態にスポットを当てた常設展示に加えて、歴史・美術・自然・競馬など、様々なジャンルを扱ったテーマ展を年に数回開催しています。春と秋には特別展・企画展も開催しています。併設するポニーセンターでは、サラブレッド、ポニー、日本在来馬などを飼育しており、数種類の馬の様子を見学することができます。試乗会やにんじんタイムなどのイベントも行っています。

24 横浜本牧絵画館 具象絵画ファン必見

横浜の名勝「三溪園」近く、絵を見ること・描くことが好きな方のための、具象絵画を中心とする私設美術館です。戦後まもなくフランスに渡り、ヨーロッパ絵画への深い理解に基づいて生涯パリで制作した画家・岩田栄吉の画業を様々な角度から紹介する企画展、および「横浜本牧絵画館」を一貫テーマとする常設展を開催しています。また、志をもって絵画制作・研究活動に取り組んでいる方々へ、成果発表の場を確保するための公募型支援・特別展も行っています。

25 三溪園 庭園、古建築、美術が楽しめます

三溪園は、明治から大正時代にかけて製糸業や生糸貿易で財を成した横浜の実業家・原三溪（本名 雷太郎）が、本牧三之谷の地に造り上げた日本庭園です。京都・鎌倉等から移築された国指定重要文化財を含む 17 棟の歴史的建造物と、四季折々の自慢の庭園が楽しめます。また、かつてこの地にあった西洋式劇場ゲート座に関する資料を併せて展示しています。ギャラリーでは、横浜で活躍する作家を中心に絵画、版画、彫刻などさまざまなジャンルの展覧会をお楽しみいただけます。

26 横浜市立間門小学校附属海水水族館 間門のまちの水族館

昭和の初め、間門小学校の校庭の先には遠浅で美しい海岸が広がり、潮干狩りや海水浴などができました。埋め立てにより、海岸はなくなりましたが、間門小学校に海水水族館ができました。子どもたちは、海の生き物を観察したり話をして海の生き物に親しんでいます。間門のまちの「アークミュージアムフレンドリークラブ」のみなさんのお力添えで運営しています。

27 横浜市技能文化会館エラプラザ 私たちの生活や文化を支える職人と技能

横浜開港とそれに伴う産業の発展とともに、衣食住全般にわたって外來文化が取り入れられ、横浜に集まった職人たちが創意工夫を重ねて技能文化を築きました。「エラプラザ」は当時の職人たちの技能と暮らしを知るることができる道具類の展示や横浜マイスターの作品展示がある小さなスペースです。技能職者を講師に招いた「匠の学校」や夏の子ども体験教室「匠の小学校」など、職人の技能に触れていただく講座やイベントを企画・開催しています。

横浜 特集記事

28 横浜市子ども植物園 楽しみながら植物について学べる植物園

横浜市子ども植物園は、昭和 54 年（1979）6 月、交際児童年を記念して開園しました。園内には 12 のエリアが点在・整備され、ニュートンのリンゴ、メンデルのブドウなど珍しい植物が多数集められています。また、「バラ園」など 2 年（2020）3 月、バラの歴史を代表する品種を見て学べる「クラシックローズガーデン」としてリニューアルオープンし、植物園を代表するエリアの一つになりました。園内には植物フィズパネルや QR コード付サインなどが設置され、楽しみながら植物について学ぶことができます。



29 神奈川県立金沢文庫 武家の文庫に由来する中世歴史博物館

鎌倉幕府の重鎮として活躍した金沢北条氏の文庫である金沢文庫に由来する中世歴史博物館です。金沢北条氏の菩提寺・称名寺に伝来した国宝「称名寺聖教・金沢文庫文書」をはじめとする古文書、聖教、彫刻、絵画、工芸品などを保管、調査、研究し、その成果を展覧会や講座、講演会などで公開しています。また、館内の図書室では日本史や金沢地域の郷土史に関する文献を多数所蔵しており、学習の場としてもご利用いただけます。隣接する称名寺の庭園の散策もおおすすめです。

30 横浜・八景島シーパラダイスアクアリゾート 海・島・生きものテーマパーク

横浜・八景島シーパラダイスは「海・島・生きもの」がテーマの複合型海洋レジャー施設です。700 種 12 万点の生きものを展示する日本最大級の水族館「アークミュージアム」や、海の生きものとともにさまざまなふれあい体験が楽しめる「ふれあいラグーン」などテーマの異なる 4 つの水族館をはじめ、子どもから大人まで楽しめるアトラクション、ショッピングストア、レストラン、ホテルなどが揃う、海に囲まれた自然環境にあふれる施設です。



31 金沢動物園 「動物の福祉」と「身近な保全」に注目

令和 4 年（2022）3 月に開園 40 周年を迎えた金沢動物園。インドゾウやコアラなど世界の希少種を含む草食動物を中心に飼育展示しています。近年は、動物福祉に配慮した飼育管理に力を入れており、その取組みは市民 ZOO ネットワークから 2 年連続で表彰を受けています。また、飼育動物だけでなく、地域に生息する生きものや環境の保全にも積極的に取り組んでいます。園内の「身近ないきもの館」を拠点にして、昆虫から小型哺乳類、植物に至る持続可能な共生に向けた活動もチェックです。

32 神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぶらざ） キーワードは国際・多文化共生・平和・子ども！

あーすぶらざは、「国際」「多文化共生」「平和」「子ども」をキーワードにした総合的な施設で、3 つの常設展示室（子どもファンタジー展示室・国際平和展示室・子どもの国際理解展示室）があり、週末に様々なイベントを開催しています。企画展示室では、年に数回、世界の文化等をテーマにした企画展を実施し、映像ライブラリーでは、キーワードに合わせた本・雑誌・DVD・絵本（多言語）を揃えています。情報フォーラムでは市民活動支援や外国人相談窓口を開設しています。

33 神奈川県立公文書館 記憶と記録の交差点 公文書館

歴史資料として重要な行政文書、古文書等を収集・保存し、県民共有の記録遺産として後世に伝える施設です。収蔵している資料は、約 26 万点の歴史的公文書、約 17 万点の古文書・私家文書、約 18 万点の行政刊行物・図書など、合計約 82 万点。資料を閲覧することにより、県の施策・業務や、地域の歴史等を調べることができます。常設展示やミニ展示、古文書講座等も実施しています。開業以外の資料の閲覧にあたっては、当館ホームページから検索のうえ、閲覧予約をお願いいたします。

34 よこはま動物園ズーラシア ようこそ、世界一周の動物旅行へ

「生命の共生・自然との調和」をメインテーマに掲げるよこはま動物園ズーラシア。日本最大級の広大な敷地に世界の希少動物を数多く飼育し、その生息環境を再現しています。園内は世界の気候帯・地域別に 8 つのゾーンに分かれており、世界一周の動物旅行をお楽しみいただけます。ぜひお越しください！

※記載してあります No. は裏面の館情報 No. と一致しています。